

教授会議事要録

1. 日 時 平成20年11月13日（木）15:00～15:56
2. 場 所 良陵会館大会議室
3. 出席者 福田所長ほか26名
4. 欠席者 6名

5. 議 事

○ 議事要録の確認

平成20年10月9日（木）開催の教授会議事要録（案）を承認した。

○ 審議事項

（1）研究所長候補者選挙管理委員会の設置について

議長から、研究所長の任期が平成21年3月31日で満了となるため、加齢医学研究所長候補者選考内規第6条第1項の規定に基づき、研究所長候補者選挙管理委員会を設置したい旨諮り、これを承認した。

次いで、同内規第6条第2項の規定に基づき、同選挙管理委員会の委員長に教授を、委員に教授1名、准教授2名を選出した。

（2）病態計測制御研究分野准教授候補者の選考結果について

議長（同研究分野准教授候補者選考委員会委員長）から、標記候補者（資料3）を適任と認め、その選考経過及び推薦理由について説明があり、次回教授会で投票により可否を決定することとした。

（3）共同利用・共同研究運営委員会及び共同利用・共同研究委員会の外部委員候補者について

議長から、共同利用・共同研究運営委員会委員及び共同利用・共同研究委員会委員候補者について次の提案があり、これを承認した。

○共同利用・共同研究運営委員会委員

- ・加齢医学研究所の教授1人
教育研究評議会評議員を充てる。

- ・関連研究者4人
外部委員4名を充てる。

○共同利用・共同研究委員会委員

- ・研究所の専任の教授及び専任の准教授1人
議長が指名した専任の教授及び准教授を充てる。

- ・関連研究者4人
外部委員4名を充てる。

（4）その他

なし。

○ 報告事項

(1) 毒劇物管理に関する法令の改正について

構成員から、次の報告があった。

- ① 毒物及び劇物取締法（毒物及び劇物指定令）の一部が資料3のとおり改正されたので、新たに指定された物質を保管している場合は、厳重に管理願いたいこと。
- ② 環境保全センターで新たな廃液管理システムに関する説明会があり、資料3のとおりシステムを構築し2009年3月から本格運用すること、及びこのシステムに基づかない廃液は今後回収しなくなること。
- ③ 動物実験等で使用しているケタラールが、平成19年1月から麻薬指定になっており適切な管理が必要であるが、一部の部局で不適切な管理があったこと。
なお、副所長から、本研究所ではこの物質は使用していないと思われるが、再度確認するとの発言があった。

(2) 第二期中期目標・中期計画（骨格案）への意見について

議長から、標記骨格案への意見を求められたので、「何らかの形で、附置研究所の意義と役割について記述すること。」及び「超高齢社会で生ずる様々な問題を、大学が解決することを求められていることを記述すること。」の意見を提出したとの報告があった。

(3) 各種委員会報告

議長から、資料4により、10月21日（火）開催の部局長連絡会議等の主な内容について報告があった。

特に、「教員の63歳定年後の継続雇用」検討プロジェクト・チーム報告に対する意見については、全教員に照会し、庶務係で取りまとめることとした。

ついで、各種員会について次の報告があった。

□特別委員会報告

副所長から、加齢研地下1階の中央監視室、倉庫、これらの部屋に面する廊下部分にアスベスト対策工事の対象となっている「吹き付けロックウール」があったが、すでに「囲い込み」の措置が行われており飛散の恐れはないこと。また、文部科学省の通知で「封じ込め」、「囲い込み」は適切な工法ではあるが、改修工事などを行う場合は工事と合せて「除去」することが望ましいとされているので、今回の改修工事で除去を実施しているが、廊下部分においては電気室よりプロジェクト総合研究棟などの建物へ電気を供給している主幹線が通っており、除去工事が極めて困難であるため、この部分については、現状の囲い込みのままにすることになったこと、及び11月20日（木）に防災（火災）訓練を実施するとの報告があった。

(4) 専任教授会報告

議長から、専任教授会（10月9日（木）開催）について、次の事項に関する報告があった。

- ① 共同利用・共同研究運営委員会及び共同利用・共同研究委員会の外部委員候

補者について

- ② 平成20年度部局評価ヒアリングが11月10日(月)に実施され、加齢研将来構想等について説明し質疑応答が行われ、中期計画に基づき概ね達成されていること、及び分野の新設、大型機器の導入等高い評価を受けたが、科学研究費補助金の申請率は高いが、生命科学系分野に比べると獲得金額が少ないこと、又外国人教員や女性教員の比率が少ない旨の指摘があったとの報告があった。

(5) 職員の兼業について

議長から、資料5により、職員の兼業について報告があった。

(6) 平成21年度入学試験実施に伴う監督者の派遣について

議長から、資料6により、標記監督者の派遣割当てについて報告があった。

(7) その他

- ① 議長から、琉球大学で国立大学附置研究所・センター長会議第2部会が開催され、10月23日(木)にシンポジウム「自然との共生と観光：自然環境、野生生物の保全と利用の両立に向けて」を実施し、翌日24日(金)に文部科学省担当者と共同利用・共同研究の拠点形成に関し、意見交換を行ったとの報告があった。
- ② 構成員から、11月11日(火)に実施した、加齢研東京シンポジウム「スマート・エイジングを科学する」の報告と、協力について謝辞があった。
- ③ 議長から、次回教授会は12月11日(木)午後3時から良陵会館で開催するとの報告があった。

以上